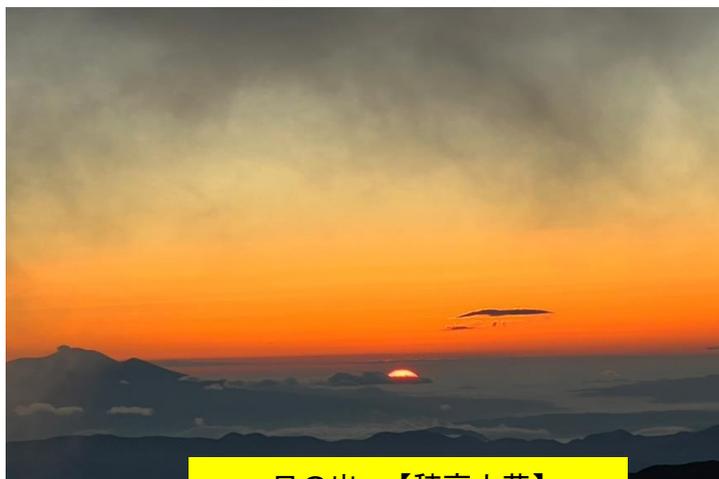
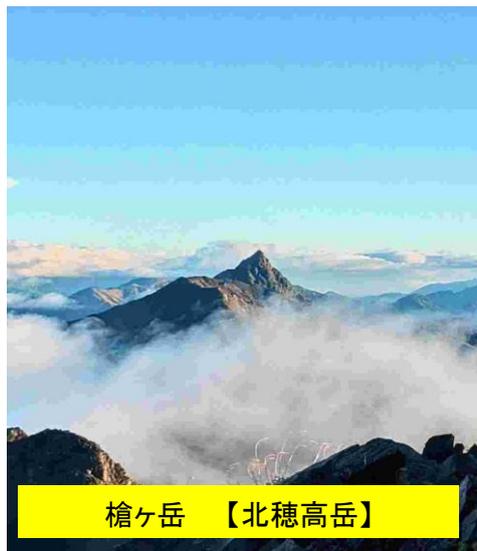


山行報告書				
日時	2023年9月16日(土)~18(月)		天候	晴時々小雨
山名	北アルプス 北穂高岳、涸沢岳、奥穂高岳、前穂高岳			
CL	HIRO	参加者	O山 フジ ナカシー ヨッシー tomo ひとみ M田 (総勢8名)	
(コース)	<p>16日(土) <O山 フジ> 上高地5:45-涸沢小屋11:30 < ナカシー ヨッシー tomo ひとみ M田 HIRO> 上高地06:40...横尾09:30...12:41涸沢小屋</p> <p>17日(日) < O山 tomo ひとみ M田 HIRO> 涸沢小屋5:45...08:58北穂高岳...12:39涸沢岳...13:16穂高山荘 <ナカシー ヨッシー フジ> 涸沢小屋6:20-穂岳山荘10:00 10:20-涸沢岳11:20 12:00-穂岳山荘12:10</p> <p>18日(月) <O山 フジ> 穂岳山荘5:20-奥穂高岳6:00 6:20-上高地11:20 <ナカシー ヨッシー tomo ひとみ M田 HIRO> 穂高山荘05:33...06:14奥穂高岳...08:56前穂高岳 ... 12:24涸沢小屋...15:20上高地</p>			
穂高縦走メモ	<p>1.北穂高岳～涸沢岳までは鎖やはしごが多く、予想以上に時間がかかる。今回の核心だった。セルフビレーを取りながら行動したいが、登山者が多いため、操作に慣れていないと渋滞を招いてしまう。</p> <p>2.穂高小屋から奥穂高岳までは登りがほとんどであるためそれほど危険を感じないが、吊り尾根はアップダウンが激しく、クライムダウンの場面ではより慎重に行動した。涸沢小屋まで時間がかかるので、夏季はゆとりある水分の携行が必須。</p> <p>3.涸沢小屋、穂高山荘ともに居住スペースが一人ずつカーテンや壁で仕切られていて快適だった。ただ、他の登山者と相部屋だったため、ものすごいびきで耳栓をしても眠れなかった。他の会員も同じように眠れなかったようだ。</p> <p>4.平湯に駐車して上高地まではタクシーで往復したが、人数が多い場合は事前にジャンボタクシーを予約すると安くて早い。 前泊の平湯キャンプ場のバンガローは便利で快適。温泉は平湯の森が広くておすすめ。</p>			
ひとみ感想	<p>ずっと憧れていた穂高連峰を、私はついに歩く事が出来た。上高地に着いた時の高揚感。そして全行程を無事にクリアできるのか、そんな不安も抱いていました。</p> <p>急登の北穂から涸沢岳への険しい道、奥穂、紀美子平、前穂、重太郎新道、涸沢を無事に下山できた事は、細やかな指導をして下さったHIROリーダーと、フォローしてくれたメンバーの皆様のおかげだと思います。</p> <p>涸沢小屋から見た満天の星空、穂高山荘での朝焼け、感激で胸いっぱいになりました。ホントに楽しかった！HIROリーダーにメンバーの皆様、有難うございました。</p>			
フジ感想	<p>ずっと行きたかった奥穂高岳に登頂出来て大満足です。只、体調を崩しメンバーとは別ルート of 山行になり大変残念です。</p> <p>奥穂高岳に登る時少し岩濡れていて大変怖い思いをしましたが最高な眺めが出来てリーダーに感謝します。</p>			
O山感想	<p>ラッキーな山行でした。3日間、涸沢、北穂高～涸沢、奥穂高～前穂高(素通りでしたが)、快晴に恵まれ、これ以上何を望むのかというベストコンディションの山行となりました。</p> <p>涸沢のモルゲンロード、北穂岳小屋の快晴の中でのコーヒー、穂高岳山荘の朝焼け、ピーカン下で絶景の奥穂高山頂、幻想的なブロッケン現る前穂高、スリリングな下りが続く涸沢小屋への下山道。全てが強烈に鮮明に脳裏に焼き付く忘れられない山行になりました。</p> <p>参加メンバーの方々、ありがとうございました。特に主催いただいたリーダーには賛辞の意を送って、この山行の感想を結びます。</p>			
ナカシ感想	<p>念願の奥穂高岳に登ることができました。山頂からは雲に浮かぶ富士山、槍ヶ岳を望むことができその絶景に感動しました。</p> <p>その後は、前穂高岳を登り、吊り尾根、重太郎新道を通って下山。リーダーには企画していただいたうえに山行中にもいろいろと教えていただきありがとうございました。また、メンバーの方々にもサポートいただき感謝です。</p> <p>楽しい山行でした。</p>			
よっしー感想	<p>今回の穂高山行は、半年前にHIROリーダーにリクエストしたもので、メンバーも8人となり実現しました。</p> <p>当初、テント泊で穂高縦走とのことだったので、歩荷トレーニング必須！と挑みましたが…気持ちに体力が伴わず、腰？脚？を痛めるという大失態。不安になって飲んだ痛み止めで吐き気が出てしまい、北穂高岳から涸沢岳の稜線を断念する結果となりました。断念するとはいっても、穂高山荘までは歩かなくてはならないので、落ち込んでみられませんが、共にザイテングラードを歩く事となった愉快なおふたり(笑)に励まされ、なんとか歩くことができました。翌日は少し体調も回復して、奥穂高・前穂高の岩稜帯はとても楽しかったです。</p> <p>今回の山行で初体験となったのが「福岡から北アルプスへの車移動」でした。往復約2000kmでしょうか？やっぱり遠いな～と実感しましたが、5泊5日を皆で旅をしているような気持ちになれて、帰りは次の遠征の話で盛り上がりました。安全運転に感謝です。いつもどんなリクエストにも応えてくださるHIROリーダー、それぞれに準備して挑まれたメンバーの皆様、ありがとうございました。今後ともよろしくお願ひ致します。</p>			

tomo 感想	日本アルプスへ行きました。先輩達の甘い言葉につられて初心者が穂高を目指した。アゼリアに入会してからいつかは挑戦したいと思っていた山だ。涸沢小屋まではピクニックとの事だったが、中々の散歩だった。涸沢小屋には休憩スペースがあり、噂の4座に囲まれた円形劇場の特等席で飲んだビールは星4つだった。北穂から奥穂までは険しい岩稜が続き、滑落事故が多発する難易度の高い上級者向けコースとの事だが、リーダーのご指導で難なく登頂した。晴天の3000mを超える場所での眺望はすばらしく優雅な時間を過ごすことが出来た。体力的にきつい登山との事だが、何百回と電話し小屋をゲットして戴いた先輩のお陰で、ゆっくり休憩し体力を回復できた事に感謝します。リーダーと皆様ありがとうございました。
M田 感想	「真っ青な空! 直ぐそこに格好良く槍ヶ岳👉 どこまでもどこまでも見える山々、山! 大好きな富士山▲も遠くにハッキリと見える! 北穂高岳から前穂高岳までの縦走は崖登りが怖いやら楽しいやらもう一生懸命でした。途中の雷鳥に癒やされて、ほっこりもありました。大満足の穂高連峰でした〜♥ 帰って来たら筋肉痛で、壊れたロボットのように体中ギシギシ言ってます〜(T_T) だけど、そのうちキツさを忘れて、今度はどこ登ろう〜 リーダーとみなさま方、本当にお世話になりましたm(_)_m ありがとうございますm(_)_m」
HIRO 感想	今回は参加者の都合もあり、車移動組と公共交通機関組に分かれて出発し、涸沢小屋で合流しました。2日目は体調や経験の差を踏まえて北穂高岳コースへ5人、ザイテングラード経由で穂高山荘直行組3人に分かれて行動。3日目は公共交通機関組が時間の都合で先発し、前穂高はパスして下山。それぞれの事情を考慮して分かれて行動することになりましたが、お互いに連絡を取りながら無事に行動できて良かったです。小屋の予約、運転の交代やナビなど、みなさんのご協力のおかげで楽しい山行ができ、深く感謝しています。
費用概算	(交通費/人)車利用者 約24000円(タクシー+駐車場代含む) (宿泊費/人) 涸沢小屋16000円 穂高山荘13500円 平湯キャンプ場バンガロー1800円



日の出 【穂高山荘】



槍ヶ岳 【北穂高岳】



紅葉の始まり 【涸沢の手前】



涸沢小屋にて



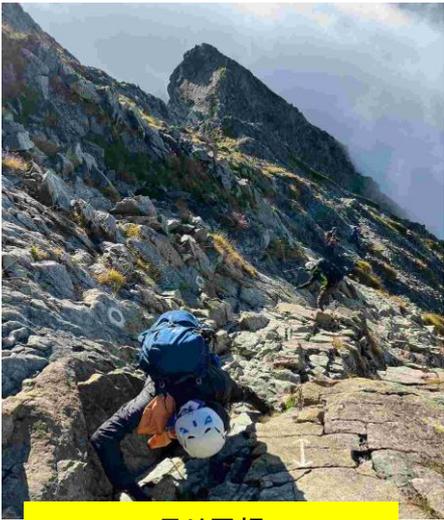
夜明け前【涸沢小屋】



北穂高岳山頂にて



奥穂高岳山頂にて



吊り尾根



北穂高岳小屋にて



前穂高岳山頂にて

